

MT 1.3,1.4

703

REEL No. 1-0154



明治四拾五年六月廿四日接獲

取  
附  
録  
課

附屬書類添附  
外第一四〇番三

秘受2781號

大臣

大官  
印

第  
2/4  
門

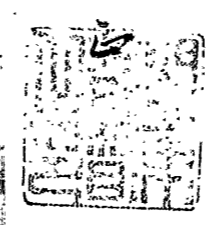
大才了於之若川見奉  
東村外カ印月廿二  
次上、露玉領事ノリ為  
(帝玉官使ニ海辱ス)  
致ス記事ヲ掲ク多ク、  
對シ在大進露玉領事  
代理ヲ、前代軍務次官  
ノ自申誠ニ、大進  
及以是長シシテ、誤  
記事ノ、兩傍ヲ命令セ  
ル、領事  
代理ニ別代乙瑞官、  
自及四等置ル、条以  
申  
去在、成方者、本件  
款末、前代乙瑞官、  
大進及  
以是長シシテ、有  
之、条併也、及亦  
去

明治四十五年六月十八日

同東部將男爵福島忠

外務大臣子爵内田康吉

門東部官府



M1 1.3.1.4

704

REEL No. 1-0154



機密百四十一號ノ二

明治四十五年六月十五日

外事課長

在大連  
露國領事代理トシバシテ宛

以書翰送上致我陳者本月十二日附ヲ以テ遼東  
新報紙上「露國領事ノ行為」ト題スル記事ニ関  
シ御申越ノ次有之矣愚右記事ハ事實相  
違ノ廉アリテ以テ取消ヲ命シタル越大連民  
政署長ヨリ報告有之矣ニ付御承知相成度  
右記事カ事實ノ精確ヲ缺テ聊カ粗漫ニ

殊リタル為メ本件ニ関シ貴領事ノ御照  
會ヲ煩ハスニ至リタルハ官ノ遺囑ヲ堪エサ  
ル所ニ依リ産否右得貴意度ハ實ハ茲ニ  
貴領事ニ對シ深厚ナル敬意ヲ表シ奉  
敬具

MT 1.3.1.4 706

M1 1.3.1.4 705

公之ヲ以テ御裁ヲ求ナリ

為事ハ可ク務立不徳事

ナリ之ヲ以テ快ニ受ケ且

吾等是也之ヲ以テ快ニ受ケ且

之ヲ以テ快ニ受ケ且

之ヲ以テ快ニ受ケ且

五日  
事課長

政署長ヨリ報告有之矣ニ付御承知相成度  
如記事カ事実ノ精確ヲ缺ク聊カ粗漫ニ

殊リタル為メニ本件ニ関シ貴領事ノ所照  
會ヲ煩ハスニ至リタルハ官ノ操感ヲ堪エサ  
ル所ニ依リ産否右得貴意度ハ實ハ茲ニ  
貴領事ニ對シ深厚ナル敬意ヲ表シ奉  
敬具

日附ヲ以テ遼東  
ト題スル記事ニ関  
如記事ハ事実相  
合シタルニ越テ大連  
ヲ以テ大連民

MT 1.3.1.4

706

M1 1.3.1.4

705

REEL No. 1-0154

0115

千九百二十二年五月三十日(六月十二日)  
第一八六號(訳文)

大連露國領事代理レベキエフ

関東都督府外事總長吉村源太郎殿

六月十二日發行第一八八號遼東新報紙上「露領事  
行為」(帝國官吏ヲ侮辱ス)ト題シ小官ノ行為ニ関シ事  
實ニ相違セル不穩ナル諷刺的報導ヲ為シテ小官ヲ  
誹難セル記事ノ掲載セラレタルコトヲ閣下ニ御通告致  
小官ハ茲ニ貴國ノ親受國ノ領事代理トシテ右記事  
ノ記者ニ對シ法律上ノ制裁ヲ加ヘラレンコトヲ閣下ニ  
懇請スルノ先榮ヲ有シ候  
追テ小官ソ本國政府ニ報告ノ必要有之候系  
閣東都督府  
御手紙數ナカク本件ニ関シ貴國官憲ノ執ラレタル  
御處置ニ付テハ小官迄御一報被成下度願  
上候  
此概ヲ利用シ閣下ニ敬意ヲ表シ候

MT 1.3.1.4

708

M1 1.3.1.4

707

REEL No. 1-0154

0115



内

大正警察第537番

明治四十五年六月十三日

大連民政署長 相賀照郷

關東都督男爵福島安正殿

駐露國領事代理ニ關スル新聞記事府報告

昨十二日遼東新報第五百五號露領事ノ行為ト題シ大連駐在露國領事代理レバデーフト大連在留露國婦人フミエロワトノ確執及  
ソリスツルーストノ新故及之ニ關聯シテ當署露語通譯高本  
初次郎及執達吏貞巡查八坂未保ニ對シ侮辱ヲ加ヘタリト  
記事ヲ掲載シタル處在事ノ實ノ内容ハ尤記ノ趣ニ有之候

一領事對フミエロワノ確執

フミエロワハ當市越後町四十七号地ニ住居ヲ有シ當市殘  
留セル露國人ノ土地家屋十數ヶ所ノ管理ヲ為シ居ル者  
ニシテ昨年春マテハハミエロワト稱スル夫ト合摺シ居リガ  
メニエロク夫人ト稱シ居リタルニ故アリテ離別シタルモノ、  
如クガメニエロクハ露邦大學ノ東洋語学科ニ於テ又那  
魯研究ヲ為シツマアリ今夏ノ休暇ヲ利用シ實地研究  
トシテ北京ニ去ル為今又其途中ニアルモノ、如ク目下ノ  
露國領事館廳舎ハタメニエロクノ所有家屋ニシテフミ  
エロワニ於テ管理シ居ルモノナルヲ以テ前領事ボロバ  
ウスオー時代ニ於テハガメニエロクスフミエロワ共ニ領事  
館ニ出入シ親密ナル交際ヲナシ居リ現領事代理レバ  
デーフト未仕後ニ亦最初ハ親密ナル模様ナリシカ前領事

MT 1.3.1.4

710

M1 1.3.1.4

709

滞國ノ際其所有ニ係ル家具類ノ大部分ヲ或シ置キフミ  
ロフニ依頼シ其ノ貴重ナル物品ハ後送致シ然ラサル物  
賣却シテ代價ヲ送付セラレタリト言遣レテ出資シタ  
ル由ニテフミロータハ其ノ依頼ニ基キ取運ハントシタルニ  
領事代理ハ着任後々々室内ヲ裝飾スヘキ何事  
家具ヲ有セザレシ為前領事ノ器物ヲ持去ラルト  
キハ領事館トシテ甚タ不体裁トナル為舊ク取  
片付ヲ極豫テメタリト云ヒ或ハ該器物ハ領事  
館ノ備品ニシテ前領事ノ私有物ナラストラ  
テ拒メタリト云ヒ其ノ真相判明セサルモ其ノ後  
前領事夫人ヨリフミロータニ封シ書面ヲ以テ正式  
ニ委任シ木リシ為現領事代理モ已ハテ得ス之  
應ニ該家具ノ全部ヲフミロータニ引渡シタリ以ノ

M1 1.3.1.4

711

事アリテ以テ領事代理トフミロータノ同ニ確報ヲ  
レタルモノ如ク領事代理ハ昨午十二月中フミロー  
タニ封シ領事館ノパケカ改造方ヲ申出タルニフミ  
ロワハ嚴寒ヲ際シ工事不能ナルヲ以テ未ダ春マラ延  
期セラレタリト請フモ聞入レヌ無理ニ之ヲ実行セシメ其  
ノ後ハ常陸ノ塗替其儘室中ノ模様等間断ナ  
ク家具ノ修繕ナラマラレ一部ノ修繕埃エスレハ更  
ニ他ノ部分ニ修繕ヲ命セシ殆トト應接ニ皇  
太子程五月迄サカシラレハフミロータハ其ノ煩  
ニ堪ハスレテ該家具ノ管理方ヲ川上員ニ托ス  
ルニ至レリ而シテ該家具ノ修繕ニ要シタル費用ハフミ  
ロワヨリ本國政府者ニ請求スヘキモノニシテ其手續  
上領事代理ノ証外書ヲ要スルニ付之レカ下付方ヲ

MT 1.3.1.4

712

請求シタルニ故事代理教師ノ調査ヲ経タル後証明書  
ヲ下附スルニ付教師サ件ヒ未レトノ挨拶ナリシ為滿  
鉄会社ノ某技師ニ依頼セントシタルニ故事代理ハ曰  
本人政九家私ノ建築ニ付テハ最近ニ於テ其眞偽ヲ  
為スニ過キス到底信用スルニ足ラザルヲ以テ英國人ノ技  
師ヲサレテ検査セシメヨトテ之ヲ熟考セテ然レニ當世  
ニハ英人ノ建築技師ノヲ上海又ハ香港ヨリ招来セ  
サルハカラサルニ斯クテハ多額ノ費用ヲ要スル為メ却  
テ損害ヲ蒙ルコトハナレバ以テ今ニ於テ終トナリ居レリ  
市ノ代理が前述ノ如ク屬々家私ノ修繕ヲ命ジタル  
ハ本身一二月頃其ノ變見ノ死亡シタルハ家私ノ構造  
不適當ナリシ為ト信シタルニ依ルカ如レト雖モ其ノ主  
因ハ前記フミールロワノ家私具引取ニ關スル行為ヲ

M1 1.3.1.4

713

嫌害ヲラサルモノアリ探ク之ヲ意ニ含ミ復讐的ノ意味  
ヲ以テフミールロワヲ田ラシムルモノナリ某ノ相手方ハフミ  
ールロワノ確信ニ當リテ故事代理ノ行為ヲ彼是レト批難シ  
居ルモノノ如ク是等ノコトハ自然ノ故事代理ノ耳に入り  
双方互ニ確執ノ度ヲ高メテアリ尤モ故事代理ノ  
行為ニ付テハ當地在由露國又ハ一般ノ評判甚々宣  
シカラザラシキ事及ヒ居リ矣

714

二 故事代理對ヤレリスツルノ間ノ條争

ヤレリスツルノハ極大人ナレモ回教ノ信者トナリ露本國  
ニ轉籍シテ露都ノ大學ヲ卒業シタルモノナリトキ  
世間ニテモ社會党員ト認メ本人モ自稱シ居ルト雖アリ  
而シテ露都ホノルニ本志ヲ有スル美國船長及船主  
今社ノ副總裁ニシテ東洋一各支店ノ總支配人ナリ

MP 1.3.1.4





據シ露市ノ數町ニ支店ヲ置キ若シ廣申益新ニ往ニモ夫  
店ヲ有セリトコトニ同會社ノ目的ハ露國人ヲ布哇カ奈  
人及露國ノ一移住セシムルモノニシテ露本國及西伯利亞  
各地ノ移住獎勵ノ廣告ヲ配布シ日本又ハ上海ヲ  
經テ月々四五千人ノ移住ヲ取致セフアリ疑事ト代  
理シテ一ツノ決セシムルトアリト云フヲ探聞スルハ露國ノ方  
針トシテ西伯利亞開拓ノ為本國政府ハ年々多  
額ノ經費ヲ投シテ移住ヲ獎勵シツクアリ物ラズ之ヲ  
誘致シテ外ハ移住セシムルハ國是ニ又スルニサラズ  
非テ誘由アリスワルズハ社會黨ニシテ移住ニ其ノ熱心  
思ヲ普及シ露西皇帝ハ危慮ヲ抱ヘシトスルニナレハ  
該會社ハ或ハ機房ニ於テ之ヲ斂 數セシメサルヘカ  
ス上稱シ居ル由ニテアリスツルニスル 松ノモ領事

NT 1.3.1.4

715

代理ノ意向ヲ窺知シ居ルモノ、如ク之レカ為ノキ素互ニ  
又日精視シ居ル模樣ニ有之然ルニ今田ヨリズツル  
ズカチ九百六年露曆三月十九日其知人ニ尋大尉ア  
サレヨリツケカ浦益新ニ往ヨリテテサハ軍隊輸送ノ  
指揮官トシテ汽船ヨモ子ニ乗船出發セントスル際約束  
ノ手紙ヲ交付シテ三ヶ箇ノ官金ヲ私借シタル為同大  
尉ハ官金費消費ヲ以テ統殺ノ刑ニ処セラレヨリスツル  
アリテ榮シタル約束ヲハ本國參謀本部ノ存ニ歸シ居  
リタル如ク人ハ其地ニ在ルコト判明シタル為故事代理ハ  
本島政府ノ命ニ依リ參謀本部ノ委任ヲ受ケテ故  
務取リノ為メ辨獲士小井一全ヲ復々犯人トシ容  
月三丁日傍給弟ノ勅書收差押方ヲ當署ハ申  
請シ同日三月一ヶ箇鬼ヲ執遣吏久込查八根末

MT 1.3.1.4

716

4





ノ内容ニ付テハ詳細判明セサルモ被告ペリリスツ  
ルースノ差押ニハ最ニ差押ヘラレタル物件ノ外觀ニ  
入レル毛皮外套ニ枚アリ自先階下ノ空室ニ仕舞  
置アルモ事(双録ナル由)ノ財産ニシテ且差押ノ當時  
執行官ヨリ特ニ尋ネラレザリシ為違テ申立ワルノ義  
務ナキモノト思料シ特ニ申出サリシモノニシテ隠匿  
タルニヤラスト辨明ニタル由ニシテ後察官ニ於テ家  
宅臨検ノ際該高品ヲ発見シタリ尚本件ニ付テハ未  
起訴不起訴ノ決定アリシヤ否ヤヲ知ラザルモ要スル  
犯罪ノ証拠充分ナラサルカ如シ  
本件ニ付テハペリリスツモ共同被告トシテ被告代理カ  
告新シタルノ前記ノ通リペリリスツゾハフエーロワ方ノ  
ニ階ニ借家ノ親 衆ナル交際ヲ為シ居ルモノニ付  
産隠匿ノ補助ヲ為シタルモノト認メ告新シタルモノ  
如クフエーロワノ被告代理ヨリ告新ヲ受ケ耐ヘ難キ  
侮辱ヲ蒙リタルヲ横断シ本國政府ニ向テ上申セシト  
教團キモ是レハ事實ニシテ尚今人々本年五月ハ私  
有財産整理規則發布セラレ格取及大連ニ於ケル土地  
家宅ヲ所有スル同胞ノ権利ニ重大ナル關係アル物  
ラス故事代理ハ何等ノ注意ヲモ為シ来ラヌ至  
同胞ヲ保護スルノ事實ナラシテ却テ諸権ノ壓迫  
ヲ加ヘラリト稱シ盛ニ被告代理ヲ批難シ居ル由  
ナリ

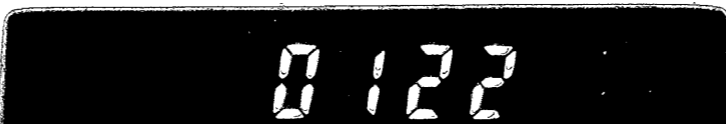
三帝國官吏ヲ侮辱云々  
其ノ領事代理カ富署 鳩托高木初次郎ヲ告新シタ  
ル事實ヲ指スモノニシテ巡查八段末作ハ其地ノ商

M1 1.3.1.4

720

M1 1.3.1.4

719



軍ニ参考人トシテ検査官ノ取調ヲ受ケタルニ因キ  
ス殿事代理方高木ヲ被告トシテ告新シタル人同ノ  
債務者ニ対シ差押アルコトヲ豫報シテ其財産ノ隠  
匿ヲ容易ナラシメタリト云フニ在ルモペリスツルズハ  
日本其他へ旅行シ帝ニ不在勝コシテ今回モ日本ニ旅  
行シ五月三十日帰連シタルモノニテ高木トハ公務上  
一三田面構シタルコトアルニ過中スレテ別ニ眼懸ノ間極  
モアラズ且該差押トハ五月三十一日午後十時ニ決意シ  
主任者ヨリ執達吏欠ノ書類ヲ交付シ執達吏欠此  
查ハ坂米作ハ債務者カ要人ニシテ吉野ノ通セサル  
為メ通譯トシテ高木ヲ寓托ニ立命ヲ米メ高木  
ハ其際始メテ差押事件ヲ知り又モ之ヲ之ヲ債  
務者ヲ豫報スルノ余地ナカリシモノト認メラリトモ

MP 1.3.1.4 721

殿事代理方高木トシテ疑懐カシクニ至リ又ハ  
其ノ遺囑ニシテ本件ノ如ク進テハ吉野ノ体面ニ  
関スルモノニ付本件ニ付テハ隘リ一彼是口外セサル  
様ノ注意シ置キタリ  
然ルニ新聞記者トシテ世ニ發表セラルルニ至リ人  
前ニ於テ之ヲ其ノ他在留露國人一般ハ役差押事  
件以来一帯殿事代理ノ行為ヲ批難攻撃シ又  
日本人間ニ於テモ今回ノ告新ハ甚シク乱暴ナ  
ニ処置ナリトシ其事ノ実ヲ知ル者ハ何レモ殿事  
代理ニ対シテ不快ノ感ヲ懷キ居ル次第ニ付自然新  
聞記者ノ身ニ入り之ヲ或上ニ掲載スルニ至リハ甚  
ク遺憾トスル処ニ有之矣

MP 1.3.1.4 722

右及報告係也

